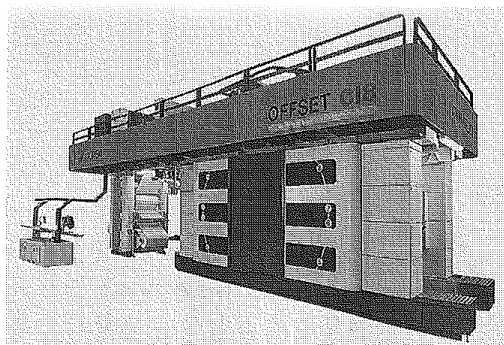




セミナーで特徴を紹介された「COMEX」
EBオフセットC18」



ミケル・サルバ
専務取締役



浅野目猛日本エス・
アンド・エイチ社長

ミケル・サルバ専務取締役は、同社の戦略を説明。品質・安全を第一に独自の技術が特徴だと語る。「現在は食品パッケージの表示が

浅野目猛日本エス・アンド・エイチ社長は、印刷業界における有機溶剤規制の問題や電気代などエネルギーコスト上昇、食品業界におけるPB普及、多品種小ロットや短期対応などの課題を指摘。こうした課題を「バランス良く」一気には解決するのが今回のセミナーのコンセプトだ」とあいさつした。

また、COMEX社のミケル・サルバ専務取締役は、同社の戦略を説明。品質・安全を第一に独自の技術が特徴だと語る。「現在は食品パッケージの表示が

日本エス・アンド・エイチは、食品用の軟包装印刷機「COMEX」(コメキ)

日本エス・アンド・エイチ

低コスト 高品質で 新型印刷機セミナー

軟包装印刷に新風

本より読まれているほど印刷が重要になっている」として、消費者・ブランドオーナー・機械メーカーと一緒に、技術開発をしていく方針を示した。

現在の食品業界の軟包装印刷は有機溶剤を使用するグラビア方式がフレキシ印刷が主流だが、環境問題やコスト面で課題があった。

今回のセミナーで紹介されたCOMEX社の軟包装用EBオフセット印刷機「COMEX EB」は、有機溶剤を使用しないEBインキを使用し、自然環境に優しい。光重合開始剤(PIC)を含まないため臭いもなく、食品用途に適している。また、グラビア印刷機に比べ年間数千万円規模で電気代が抑えられる。製版コストもオフセット機の10分の1に抑えられ経済的だ。

セミナーではEBオフセットの説明やEBインキ、照射装置の解説、水性フレキシ印刷やインキなどについて、COMEX社DTC、岩崎電気、日本アクリル・ゲバルトの4社から講師を招き講演した。(山本大介)